

日本高血圧学会「高血圧管理・治療ガイドライン 2025」の発表（令和 7 年 8 月 4 日）

日本高血圧学会では 2025 年 7 月 25 日に新しい高血圧のガイドラインを発表しました。

<https://www.jpnsh.jp/topics/827.html>

我が国の血圧コントロール状況は十分ではなく、主要経済国の中では最下位に近い状況です。今回のガイドライン作成の方針は、従来の知識中心の内容から、血圧を下げる行動につながる内容とすることです。そのために 3 部構成にしています。

第 1 部：対象を国民全体や集団として公衆衛生的な内容としています。

第 2 部：対象を成人の本態性高血圧患者として、利用者を実地医家としています。

第 3 部：対象を二次性高血圧などの含めた特殊な病態として、利用者を各種専門医としています。

降圧目標を年齢によらず 130/80mmHg 未満(診察室血圧)、125/75mmHg 未満(家庭血圧)としています。しかし、やみくもに下げるのではなく、個別状況を考慮し、有害事象や副作用に注意しながら降圧することとしています。

降圧治療では、主要降圧薬を長時間作動型ジヒドロピリジン系 Ca 拮抗薬、ARB、ACE 阻害薬、少量のサイアザイド系利尿薬、 β 遮断薬として、投与開始の薬物としています。また、降圧が不十分の際には早めにこれらの薬物の併用を行うことを推奨しています。